

## 「中国地域における新たな産業集積と企業誘致のあり方に関する調査」

### 【イントロダクション】

戦後の中国地域の企業立地は、太平洋ベルトに包含される瀬戸内工業地帯への重化学工業を中心に進展しましたが、近年の企業活動のグローバル化の中で、国内生産拠点の統廃合や海外移転、あるいは、「国内回帰」と表現される一部生産工程の国内移転を含めた世界規模での生産体制の再編成などが起こり、大きな環境変化のただ中にあります。

このような状況下、地域経済が自立を果たしていくうえでは、グローバルな経済情勢のもとで競争力を強化し、付加価値を高めていくための戦略的な産業集積ビジョンの策定と実行が求められています。企業誘致に際しても、対象地域のポテンシャルを十分に踏まえ、誘致の方向性や重点分野をビジョンの中に明確に位置づけたうえで、立地促進策の展開を図っていく必要があるといえます。

本調査では、以上のような認識のもと、中国地域における既存の産業集積や地域資源のレビューを行うとともに、他地域における産業集積・企業誘致への戦略的な取り組み事例などの調査を実施しました。そのうえで、中国地域の今後の注目産業分野や産業集積イメージを提示するとともに、今後の誘致活動に際して留意すべきポイントなどについて考察を試みています。

### 【本調査の構成】

- 第1章 企業立地による産業集積の高度化と環境変化
- 第2章 注目すべき先端技術・成長産業分野と中国地域のポテンシャル
- 第3章 中国地域の持続的な発展に向けた次世代産業集積の方向性
- 第4章 産業集積・企業誘致の基本方針とそれに基づく誘致活動

2009年4月

株式会社日本政策投資銀行 中国支店

※ 本調査は、中国経済連合会様と共同して行ったものです